

学校名	須賀川市立小中一貫教育校 稲田学園 (稲田小学校・稲田中学校)	校長	八木沼 孝夫
住所	須賀川市岩淵字岡谷地 1 番地		
T E L	0248-62-2804・2806	U R L	https://sukagawa.fcs.ed.jp/稲田学園

施設一体型小中一貫教育校 稲田学園 開校 「やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子」

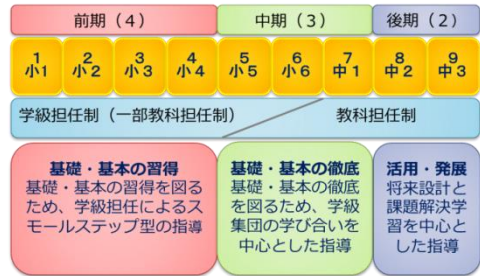
取組の概要

平成30年4月に須賀川市初の施設一体型小中一貫教育校 稲田学園 が開校しました。本校では「9カ年の系統的・継続的な学びを通して、豊かな知性や感性及び健やかな身体を育むとともに、志を高く持ち、未来を創造するために必要な人間性や社会性を身につけたたくましい児童生徒を育成する」という教育理念の下、「やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子」という教育目標を掲げて、児童187名、生徒101名が同じ校舎で仲良く学校生活を送っています。

内容

●9カ年の系統的・継続的な小中一貫教育

小中学校の9年間を前期4年・中期3年・後期2年の3つのブロックで区分し、それぞれの発達段階に応じてより効果的な教育活動を行っています。



●小中教員の相互乗り入れ授業

小中学校の教員が同じ校舎に勤務している利点を生かし、中学校教員が小学校の音楽、外国語活動、理科、体育などで乗り入れ授業を通年で行い、5年生から9年生の算数・数学では、小中教員によるTTで授業を行っています。そのため相互乗り入れ授業をスムーズに行うために1・3・5校時の開始時間を同じくするなど日課表の工夫も行っています。

●児童生徒の交流活動

開校する以前から校舎が隣接していたため交流活動が盛んで、合同の文化祭(秋華祭)や異学年交流の「いなだっ子集会」、部活動体験、合同ボランティア活動などを行っていました。今年度からは小学校の運動会に中学生が参加したり、5年生から9年生までが児童生徒会に所属して合同の委員会活動を行ったりするなど、小中学生が仲良く交流している姿が見られています。



いなだっ子集会



9年生による読み聞かせ

●キャリア・ふるさと教育

本校では「キャリア・ふるさと教育」を教育活動の大きな柱の一つに掲げて「未来を拓く 稲田の子」の育成に努めています。5・8年生が県教委キャリア教育連携事業により専門高校を訪問して体験学習を行ったり、7年生・8年生は地元事業所での職場体験を行ったりしています。また8年生は学習旅行の一環として、東京日本橋にある福島県のアンテナショップ「ミデッテ」で、須賀川・稲田のPR活動を行いました。9年生は地域住民や地元事業所などで構成される「稲田学園松明づくり協力会」の方々からご指導いただき松明を製作し、日本三大火まつりの一つである「松明あかし」に参加し、郷土愛や愛校心を育んでいます。



東京日本橋でのPR活動



松明あかしへの参加

●地域とともにある学校づくり

地域との連携・協働にも力を入れています。その一つに「稲田学園地域運営協議会」があります。区長会、保護者、商工会、福祉関係、学識経験者等15名の委員の方々から学校経営へのアドバイス等をいただいております。また地域の方々や関係機関の方々に「学校人材バンク」へ登録いただき、丸つけボランティアなど様々な教育活動に対してサポートいただいております。



学園地域運営協議会



丸つけボランティア

以上のような取組を行いながら、9年間という小中一貫の系統的・継続的な学びを通して「子ども達の笑顔と、教職員の自信が満ちあふれ、保護者から信頼され、地域から愛される学校」を目指しています。